

目黒労協

2025夏季闘争ニュース

No.25-08 2025年7月1日

発行:目黒地区労働組合協議会/教宣部

【HP】<http://meguro-rokyo.jp/>

メール:union@r05.itscom.net



新組合員さん“いらっひゃ〜い”

加盟労組では新年度の新入社員・新入職員の組合加入を進めています。それぞれの労組での取り組みや、工夫しながら進めている活動などを紹介していただきました。(編集部)

土建目黒支部「手ぶらで BBQ 豊洲」

5月25日(日)、春の組合員拡大が終わり、新組合員の歓迎も兼ねた東京土建一般労働組合目黒支部のイベントが、総勢80名で東京・豊洲にあるBBQ施設「WILD MAGIC」で行われました。WILD MAGICは東京・豊洲にある



BBQ施設で、手ぶらでバーベキューを楽しむことができ、ゴミも捨てることのできる施設で、気軽に参加できました。昨日まで“どしゃ降り”だったので、朝まで気になっていましたが、みんなの願いも通じて天候も回復してくれました。

まずは火起こしから！うちわや扇子で空気を送り込み、汗だくになりましたが、その後のビールが美味しかった。お肉も用意されているだけでなく、追加で用意しておいたので十分な量があり、アミにいっぱいのせてどんどん焼いて、どんどん食べて大満足でした。時々煙が上がり目にしみ、また洋服に匂いがついて、「電車で美味しそうな匂いをまき散らしちゃうね」と笑ったり、楽しく過ごすことができました。これからの時期は、気温が上がり外でのアクティビティが楽しみになってきます。また、イベントがあれば、ぜひ参加したいと思います！（東京土建目黒支部/通信員）

大東通信機労組一新入組合員を迎え

4月から新たに加わった4名の新入社員を歓迎するため、組合にて歓迎会を開催しました。(3名は本社勤務。1名はつくば勤務。)

はじめは皆さん少し緊張した様子も見られましたが、先輩との交流が進むうちに肩の力も抜けたのか、徐々に表情も和らぎ、非常に賑やかな雰囲気の中で会は進行しました。歓迎会では、各席で軽い自己紹介や部署の紹介をして、飲食を交えた歓談を通じて、お互いの理解を深めることができる貴重な時間となりました。

参加者内でも部署を越えた会話も生まれ、普段あまり関わりのないメンバー同士の交流も見られるなど、組合ならではの会食となり良かったです。職場全体の一体感が高まる有意義な時間となりました。また、先輩社員からも激励の言葉や業務に関するアドバイスも多く寄せられ、今後の仕事への意欲を高める機会にもなったようで、これからの成長と活躍がとても楽しみです。今後の組合活動に向け、新しい仲間と共に、働き方改善や、ベースアップの要求を会社に対して根気強く続け、より良い職場環境を築いていけるよう、組合員一同力を合わせて頑張ろうと思いました。(大東通信機労組/労協執行委員)



6・5ケア労働者の大幅賃上げ・増員を求める統一行動

賃上げ・一時金獲得へ、闘いは続きます

財務省前

6月5日の昼、東京地評・東京医労連を中心とした財務省の宣伝行動。司会は東京医労連書記長、冒頭は東京医労連委員長、ついで日本医労連副委員長。夏の一時金は昨年より平均でマイナス6万円という報告。また介護労働者の離職が続く状況を、日本医労連として記者会見中とのこと。呼びかけに応え、目黒労協とともに、東京自治労連、JMITU、全労連全国一般、文京区労協、台東、練馬、北、杉並区労連、新宿一般など東京中から結集しました。目黒労協・めぐろユニオンも参加しました。



厚生労働省前

霞ヶ関行動は財務省前に続き、厚労前でも宣伝行動。現場からの報告で、埼玉メディカルセンター看護士より、「人手不足、若い人の退職、低賃金の中で、老健のディケアセンターが人手不足で閉鎖された。診療報酬、介護報酬という公定価格を直ちに引き上げろ！」と訴えました。ほくと生協からは「夏のボーナス3万引き下げ。昨年の夏、冬と3回連続引き下げ」と報告があり、緊急の診療報酬引き上げを求めました。参加者116名でシュプレヒコール！



みんなの賃上げ・最賃UPへ！

JMITU 目黒地域支部の未組織宣伝

5月26日 学芸大学駅東口。JMITU 目黒地域支部、目黒労協、未組織宣伝行動。月1回の個人加盟の地域支部例会後、駅前で「組合づくり」「組合に入ろう」と宣伝行動を行っており、今回は7人で30分、用意したチラシ入りティッシュを配りきって終了しました。

★7月29日(火)17:30～目黒労協・最賃宣伝/中目黒駅、など予定。



生活防衛めざし、夏季闘争もストライキなど全力支援！

JMITU 目黒地域支部は、現在区内に現役労組(分会)がありません。その分、自分たちのできる産別闘争として、近隣区でのストライキや集会などの支援を、全力で取り組んでいます。その中で、直近の支援行動を紹介します。(JMITU 目黒地域支部/通信員)

JMITU セントラル警備保障支部(新宿)

5月29日(木)、夏期一時金闘争でのCSPユニオンのストライキ支援に参加。24春闘で「警備業界で初めてのストライキ」を実施、今年の春闘でもストを実施し、低額回答に抗議を表明しました。この日は、組合の要求内容にまったく答えていない、会社回答に抗議し行われたものです。集会では、委員長をはじめ4

名の組合員が、自分の思いや会社への要求を訴え、東京地評・議長も連帯あいさつに駆け付けてくれました。厳しい取組みが続きますが、着実に組合員も増やしながら頑張っています。

JMITU 桂川精機分会（大田）

6月4日(水)、大田区のJMITU 桂川精機分会の、終業時での本社門前宣伝に参加。25春闘の回答が「昇給率1%、2,637円」ということで、まだ妥結していません。再回答を求めた翌日の団交を控え、この日の行動となったもので、地元のJMITU 関係や大田区労協に加え、目黒・西部のJMITUの仲間がかけつけました。20人での宣伝行動で、「会社は世間並みの賃金と一時金を出せ！」と会社に向かってアピールしました。



全労連・東京地評争議支援総行動

5月28日、「全労連・東京地評争議支援総行動」が取り組まれ、全都20か所の社前・省庁・裁判所前などで争議団が集会や行動に取り組みました。目黒労協加盟委の組合でも、毎回各所の社前行動に参加しており、今回行動の参加の一部を紹介します。(目黒労協/事務局)

人事院前：全国税原口さんを職場に戻せ

当日の人事院前集会だけでなく、後日6月4日 全労連会館「原口朋弥さんを職場に戻そう！人事院の不当判定に抗議 6/4 報告集会」にも参加。*目黒労協 HP で報告しています。

法務省前：民事法協会労組 賃金労働条件の改悪を許すな



前回12月5日に続き、全労連・寺園事務局次長が主催者挨拶。女性賃金差別問題をILOに訴えたこと報告。続いて、全労連全国一般委員長が、「市場化テスト以降9回の競争入札により、全国各地の地方最賃に貼り付いた低賃金。入れ替わる人材派遣会社では、雇い止め問題や、50円賃下げの問題が起こっている」と報告。最後は民事法務協会労組しらかみ委員長から、「毎年恒例のアンケートで今年は、新規受託会社トープ(大阪の会社)などでの不満の声が溢れている。ここに限らず、毎年競争入札でくるくる会社が変わるなかで、ブラックな受託会社しか残っていない」と訴えました。

箱崎・日本IBM 前に200人超結集

争議支援行動お昼の結集は、箱崎IBM。当該報告に続き、全国税・原口さんが壇上に。6月4日の報告集会参加を呼びかけ、アイビー・エム労組からは「日本IBMから分社化した六本木のキンドリル社とは和解成立。正常に労使交渉展開中。定年後再雇用問題も、65歳までの賃下げなしの定年延長、退職金も65歳定年時に向け『積み立て続ける』と決着。しかし日本IBMは、今春闘でも賃金引き上げは3分の1の労働者のみ。残りの労働者は賃上げ一切なし、各種手当削減攻撃がかけられている」と報告がありました。



目黒地域の取組み、いろいろ

目黒社保協総会 + 学習会「生活保護問題を考える」



6月7日(土)午後のさくらプラザ・レクホールにて、目黒社保協総会が開催。今年の総会は手短に切り上げ(各参加団体の報告は資料にて)、「生活保護問題を考える」学習会を開催。会場は40名参加と満員で、関心が高いテーマだったかもしれません。講師の用意した豊富な資料・ビデオを見ながら学びあいました。(目黒労協/参加者)

改憲 No! めぐろ、合同で宣伝行動

「洗足9条の会」と「改憲No! めぐろの会」は、6月1日(日)11:00から大岡山駅前で、合同での宣伝とシール投票、そして署名活動を行いました。最近の週末は天気が心配でしたが、当日は好天に恵まれ10名が参加し、1時間でチラシ入りティッシュ220個配布できました。署名は7筆の協力があり、シール投票も8名の協力を得ることができました。何と現金のカンパもあり、参加者一同“大感激”の宣伝行動でした。(目黒労協/改憲NO! めぐろ事務局担当)



「年金」で生活できますように! 「年金支給日」宣伝

6月13日(金)午後の学芸大学駅前にて、地域の労組・全日本年金者組合目黒支部の「年金支給日」宣伝に参加しました。「年金者組合」は文字通り、現役を卒業した「年金生活者」が中心に、「だれでも安全・安心、豊かな生活がおくれることを願い、年金・医療・介護など、社会保障の充実を求める活動を行っている」団体です。年金は、2ヶ月分を偶数月の15日(*土日の場合は金曜日)に支給されます。したがって6月は13日が支給日となり、この日の宣伝行動となったものです。くしくもこの日は年金額を引き下げ続ける、改定年金制度法案が可決され、宣伝では「暮らせる年金」を求め、訴えを行いました。現役時代は実感しづらいと思いますが、労働者は賃金額により年金額も違ってきます。現役の人、もっと年金に関心を持ちましょう!(目黒労協/事務局)

目黒労協では区内労組訪問を取り組んでいます

目黒労協執行委員会では、加盟労組および未加盟労組との情報交換の機会を増やし、さらに一緒に一致する課題に取り組むことを目的に、職場訪問活動に取り組んでいます。(編集部)

トキワ松学園職員組合

5月24日に3人で訪問、「代表」が対応してくれました。組合大会ができていないので、正式な体制ではないため、委員長ではなく「代表」として対応とのこと。新規採用あるが3年期限付き採用で、3年後に正規採用。組合員は1桁だが、団交も実施、賃上げ要求中。

東京都教職員組合目黒支部

委員長が交代したとのことで、6月13日の役員会に3人でお邪魔しました。組合員のいない学校も多くあるが、毎月発行のニュース配布は、組合員ではなくても協力してくれる人もいるとのこと。今国会での「給特法」改正内容では長時間労働は減らず、教師不足は続くと指摘。



訪問し懇談する労協役員